

MADORIST

MADORIST

これまでに設計した住宅の、間取りについて書こうと思いました。

家を考えるとき、誰しもまず間取りを考えますよね。どうしてでしょうか。それは、間取りは人の動きを表すからです。

逆に言うと、間取りによって人は動かされていると言ってもいいのかもしれませんが。

なんか凄いことだと思いませんか、知らず知らずのうちに、間取りに動かされているなんて…。

新聞広告の家の間取りをみても、勝手にいろんな想像が浮かんできます。

この部屋は、たぶんこう使うんだろうな。
またここは、室名以外にもこういう使い方もあるんじゃないか…などなど。

間取りからいろんな人の動きが想像できるのです。

そういうわけで、私たちも、家を設計するときには特に間取りにはこだわってきました。

まず、できるだけ部屋の名前から間取りを考えないようにしました。部屋の名前より、住む人がどのように動き、どのように生活するかから間取りを考えるように心がけました。

そうした結果、これまでに玄関のない家や、外なのか中なのかよくわからない軒下や、廊下がなくすべてが続き間など、ちょっと不思議な間取りの家ができあがります。

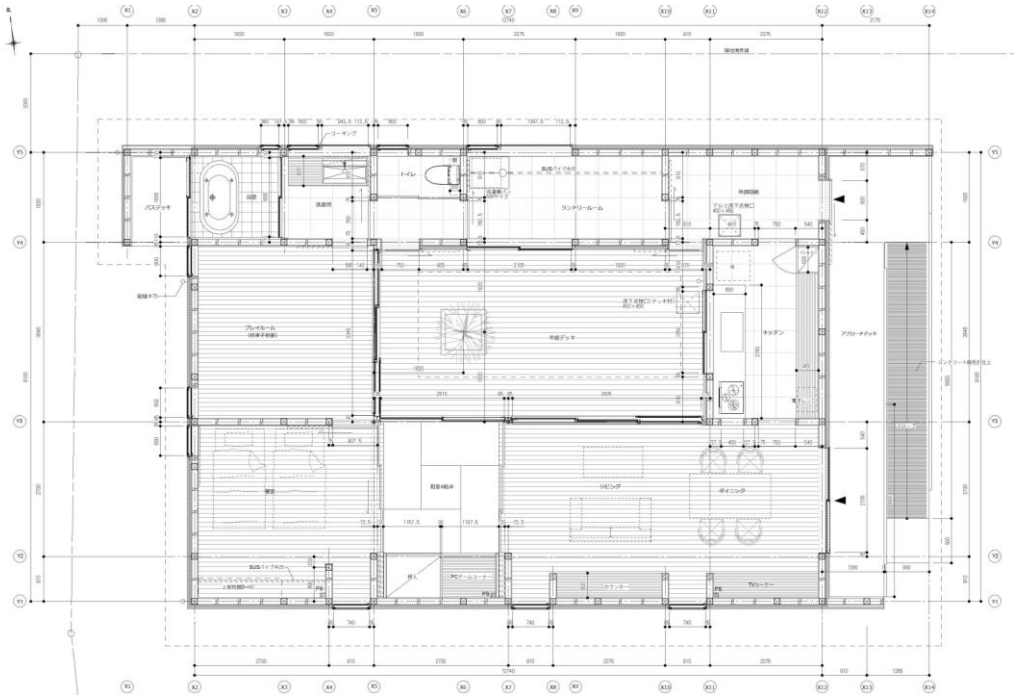
しかし、もちろんそれは奇をてらったわけではありません。あるがままに、住む人の生活を、動きを間取りに置き換えていった結果なのです。

この冊子には、これまでに設計した住宅の間取りを載せています。見る人がそれぞれ、どう使うのか想像を巡らせ、楽しんでいただければ幸いです。

阿久津友嗣

瀬戸市の住宅

2019年





この間取りには、2つの特徴があります。

ひとつは、中庭型の家であること。

もうひとつは、廊下がなく各部屋同士が、
続き間になっていることです。

なんだか昔の農家のようにどこか懐かしい間取りです。

リビング・ダイニングから和室、寝室、洗面所、
室内干場、物入、キッチン、そしてまた、
リビング・ダイニングとぐるぐる回ることができます。

もし、急ぐときは迷わず中庭を横切りましょう。

四角く切り取られた空が迎えてくれます。

そして、そのときに自然を感じるすることができます。



なんと、リビングの中に浴槽がある間取り。
もちろん住宅でなく、週末住居だからなせるわざ。

建て主の熟年男性が、週末に雑木林を眺めながら、
ひとり過ごすための家です。

ワンルームの中に、キッチンやら、トイレやら、囲炉
裏付きの畳コーナーやらが散りばめられた間取り。
階段をのぼり2階が寝室になります。

雑木林に向かって大きなガラス窓があり、家のどこか
らも雑木林を眺められるようになっています。

オープンな浴室には上げ下げ式の目隠しをつけました。



こちらも、ぐるぐる回ることのできる間取り。
図面は1階の間取り図です。

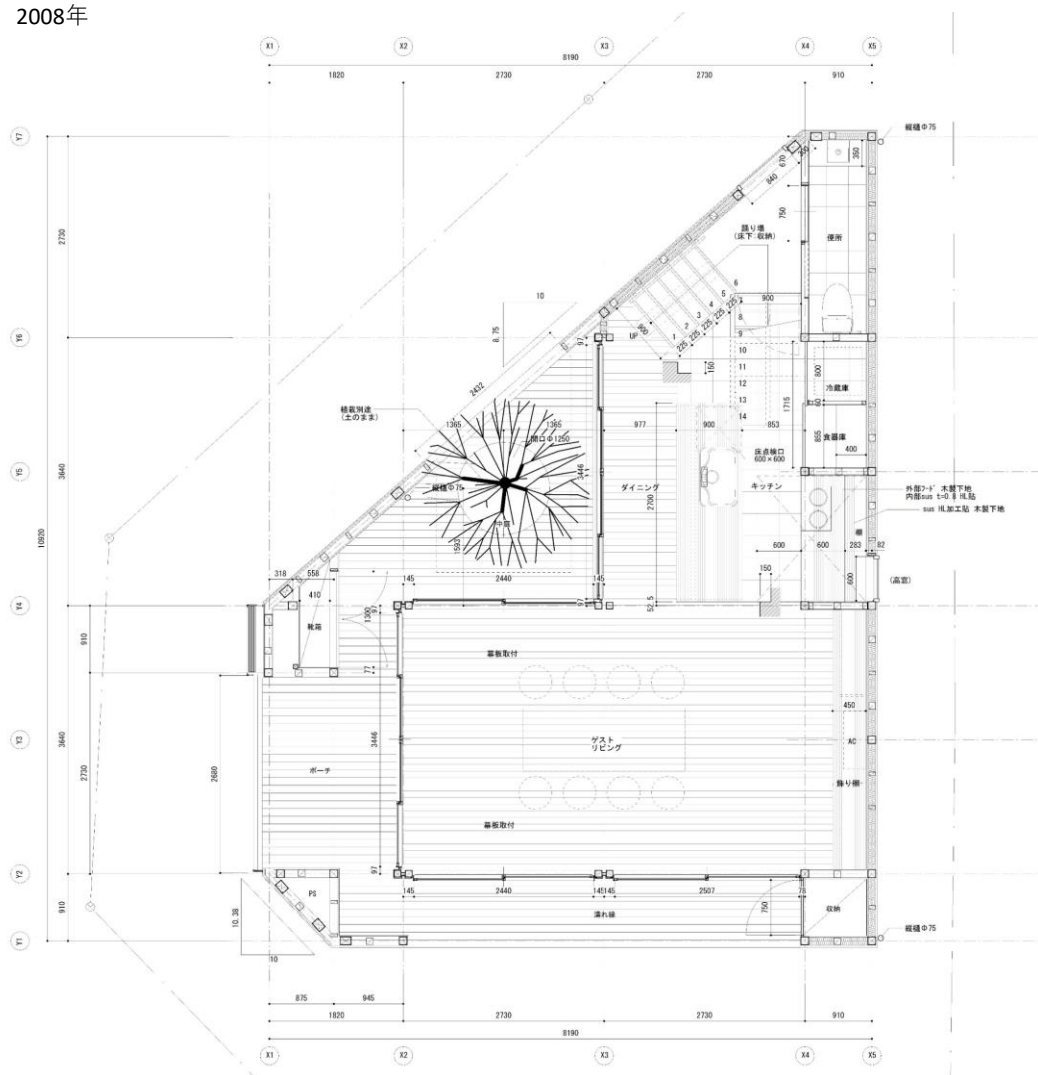
この家は眺めのいい2階にキッチン・ダイニングがあります。1階には寝室があるのですが、その寝室を取り巻くようにウッドデッキのテラスを巡らせ、寝室を中心にぐるぐる回ることができる動線です。

ウッドデッキのテラスは、寝室と庭をつなぐ緩衝帯（バッファー・ゾーン）になっていて、使い方に決まりはありません。自転車置き場だったり、お茶を飲んだり、子供たちが駆けっこをする場であったりします。

生駒の住宅

2

2008年





変形六角形の間取り。

好きで変形にしたわけではありません。そもそも敷地が変形なのです。

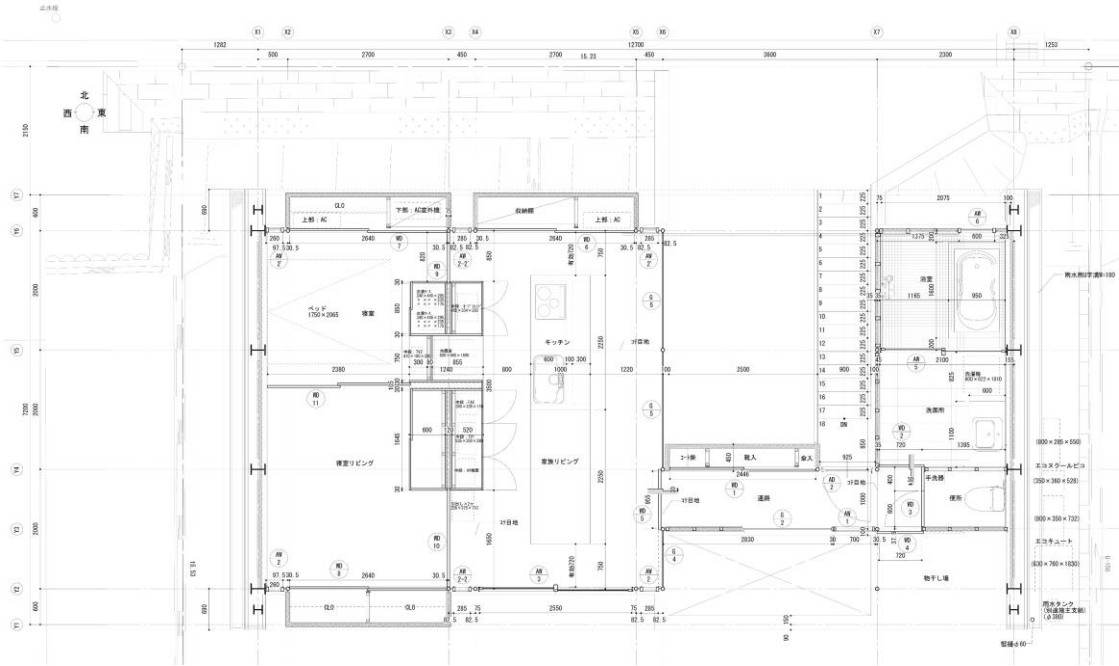
間取り図を見ると、室内なのか、外なのか、ちょっと分かりづらい間取りです。それもそのはず、それは、内と外とを同等に扱おうと考えているからです。

雨の多い日本では、昔から軒下を上手に使っていますよね。お寺もそうだし、住宅には濡れ縁という場所があります。

この家でも、屋外であるけれど、室内の延長として日常的に使うことのできるスペースを提案しました。

富雄の住宅

2008年





地下に掘りぬきガレージがある平屋の住宅。

間取り図は、その1階。大きく左部分と右部分に分かれているのがわかります。左部分が居住スペース、右部分は浴室などの水回りスペースです。

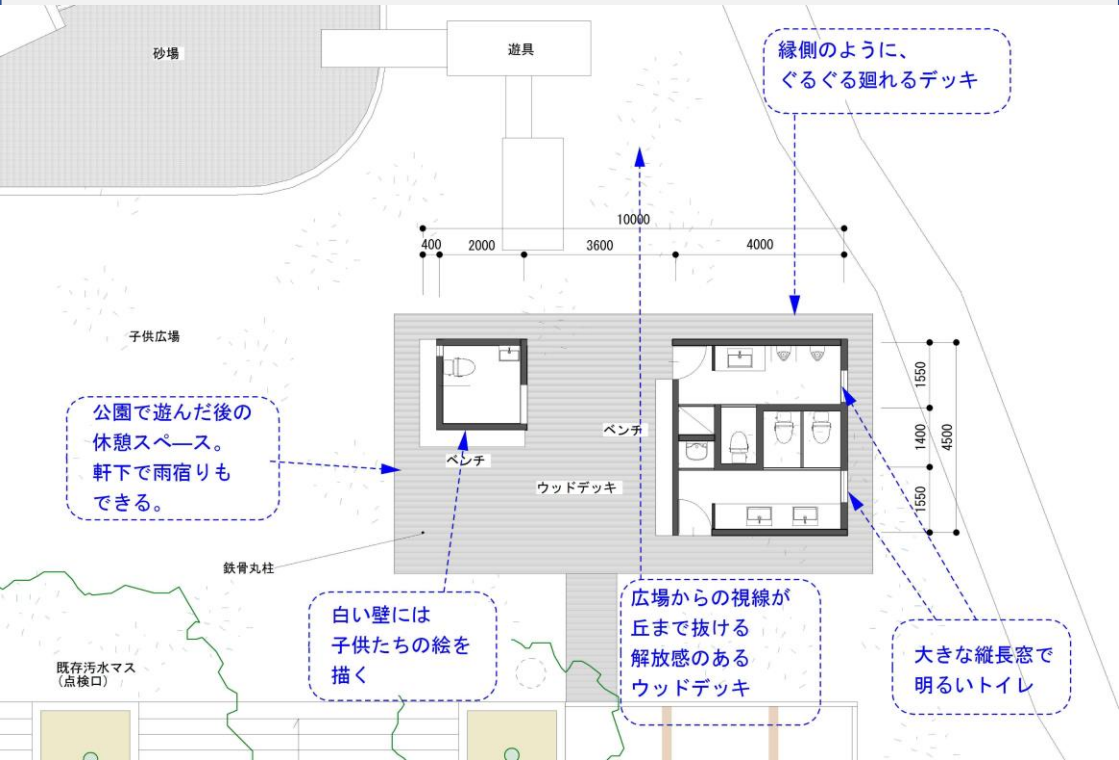
2つのスペースはガレージの上に架かるブリッジでつながっていて、ここに玄関があります。

居住スペースは中央の収納を中心にぐるぐる回れるワンルーム型ですが、必要に応じて引戸で区切ることもできるようになっています。

奈良市公園 トイレ

の提案

2020年





奈良市にある公園のトイレを提案しました。

真っ先に考えたのが、「どういうトイレか」ではなく、公園には「どういう場所があったらいいか」ということ。

そこで、大きな屋根の下の雨宿りスペースがあれば、いろんな人が休んだり、集まったりできるのじゃないかと考えました。

全体がウッドデッキの床で、そこに軒の深い屋根をかけ、多目的トイレと男女のトイレを2つに分けて並べています。ウッドデッキには、休憩のできるベンチもつけています。

